

海外事務所だより

ニューヨーク事務所

北米で活躍するJET同窓会

～ JETAA USA, JETAA Canada

前ニューヨーク事務所所長補佐 河村 千鶴子(広島市派遣)

ニューヨーク事務所の主要事業の一つとして、アメリカ、カナダに組織されているJETプログラム参加者の同窓会組織（Alumni Association、通称JETAA）への支援があります。

JETプログラムの最大の参加国であるアメリカには19、アメリカに次ぐ参加国カナダには7つのJETAA支部があり、JETプログラムの参加者有志が、母国への帰国後もボランティアで日本映画の上映会や日本料理教室等の日本関連行事を開催するなどして、日本とアメリカ・カナダ両国の交流の促進に貢献しています。また、各支部では、渡日前の新規JET参加者を対象とした日本での生活に関する事前研修会や、帰国後のJET参加者に対する就職セミナーを開催するなどして、JETプログラムそのものにとってもなくてはならない重要な存在となっています。

JETAA が姉妹都市交流事業に協力

クレアでは、地方自治体等の海外での活動に対する支援を行っていますが、多様化する自治体等からの要望によりきめ細かく対応できるよう努めています。2010年10月から新しく設けられたサービスの一つに、現地のイベント等に対するサポート要員の紹介があります。これは、海外で自治体が開催・参加する現地のイベント等に、受付やPRを手伝ってくれるボランティア人員を紹介するというもので、JETプログラム経験者を紹介することも想定されています。

実際にJETAAの協力を得て実施された姉妹都

市交流事業の事例もあります。2010年5月、滋賀県とミシガン州との姉妹州交流事業として滋賀県の和菓子職人による和菓子づくりのデモンストラクション“A Feast for the Eyes: a Japanese Confectionary Demonstration”が、ミシガン州内3カ所で実施されました。この行事には、同州を活動拠点とするGreat Lakes JETAAのメンバーがスピーカーとして参加し、自らの和菓子にまつわる体験談などを来場者に披露しました。

JETAA を通じて広がるネットワーク

ニューヨーク事務所では、JETAAと日本の地方自治体の協力関係を築く橋渡しの役割を積極的に果たしていきたいと考えています。JETAA各支部のウェブサイトや支部のニューズレターを通して、日本関連のイベントの広報を依頼することもできます。また、JETAA側でも、地方公共団体との結びつきを強化し、赴任した地域に帰国後も貢献しようという動きも広がっています。具体的には、LinkedInというキャリア関係のソーシャルネットワークに、配属県別JETのグループを開設したり、日本の観光振興につながるような日本の旅行経験に関するブログ情報を収集したり、といった活動が始まっています。

アメリカ・カナダで実施する姉妹都市交流や観光促進事業等に、地元のJETAAメンバーの協力が得られるよう紹介することも可能です。ご関心のある方は、まずニューヨーク事務所までご相談ください。

Email: jlgc@jlgc.org

北米 JETAA 各支部の紹介

①支部ウェブサイト、②支部所在地および管轄エリア、③会員数（2010年7月時点）、④特記事項
<JETAA USA>



US1 JETAA DC



①<http://www.dc.jetalumni.org/>、②ワシントンDC、③758人、④アメリカの首都ワシントンDCを中心に活動しています。土地柄、アメリカ政府機関、大学に勤務するメンバーが多くなります。

US2 JETAA New York



①<http://jetaany.org/>、②ニューヨーク／ニューヨーク州、ニュージャージー州、ペンシルヴァニア州、③1,421人、④アメリカで2番目に大きな支部で、フィンガー・レイク（ニューヨーク州北部地域）、フィラデルフィア、ピッツバーグ、ニュージャージーに準支部があります。同支部は、ニューヨーク州から非営利団体として認定されており、最も活発に活動している支部の一つです。

US3 New England JETAA



①<http://www.nejetaa.com/>、②ボストン／マサチューセッツ州、コネチカット州、メイン州、ニューハンプシャー州、ロードアイランド州、バーモント州、③214人

US4 JETAA Southeast



①<http://www.jetaase.org/jetaase/>、②アトランタ／ジョージア州、アラバマ州、サウス・カロライナ州、ノース・カロライナ州、③253人、④サウス・カロライナ、ノース・カロライナに準支部があります。

US5 jetaa NOLA (JETAA Mid-South)

①<http://www.jetaanola.com/>、②ニューオーリンズ／アーカンソー州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、③126人

US6 JETAA Florida

① <http://www.florida.jetalumni.org/>、
②フロリダ州、
③195人、④フ



ロリダ州は東西南北に広い州であるため、支部活動は北フロリダ（タラハシー、ジャクソンビル、ゲインズビル）、中央フロリダ（オーランド、タンパ）、南フロリダ（フォート・ローダーデル、マイアミ、プラム・ビーチ）の3つの地域に分けて行われています。

US7 JETAA Chicago



①<http://www.chicago.jetalumni.org/>、
②シカゴ／イリノイ州、インディアナ州、ウィスコンシン州、③874人、④インディアナ州、ウィスコンシン州に準支部があります。非営利団体としての認定を受ける準備をしています。

US8 Heartland JETAA

①<http://www.heartlandjetaa.org/>、②カンザス州カンザス・シティ／アイオワ州、カンザス州、ミズーリ州、ネブラスカ州、ノースダコタ州、サウスダコタ州、③440人、④アメリカ中西部に位置する6州を活動地域とし、アメリカで最も広大なエリアをカバーする支部です。



US9 Texoma JETAA

①<http://www.texomajetaa.org/>、②ヒューストン／テキサス州、オクラホマ州、③418人



US10 Rocky Mountain JETAA



①<http://rmjetalumni.org/cms/>、②デンバー／コロラド州、ワイオミング州、ユタ州、③573人

US11 Pacific Northwest JETAA

①<http://www.pnwjetaa.org/>、②シアトル／ワシントン州、アイダホ州北部、モンタナ州西部、③474人、④スポケーンを中心とするInland 地域に準支部があります。



US12 JETAA Portland

①<http://www.jetaaportland.com/>、②ポートランド／オレゴン州、アイダホ州南部、③475人



US13 JETAA Northern California



①<http://www.jetaanc.org/>、②サンフランシスコ／カリフォルニア州北部、ネバダ州、③2,708人、④アメリカで最初に設立されたJETAA.で、会員数は全米最大です。カリフォルニア州から非営利団体として認定されています。

US14 JETAA Southern California

①<http://jetaasc.org/>、②ロサンゼルス／カリフォルニア州南部、アリゾナ州、ニューメキシコ州、③1,228人、④サンディエゴ、サンタ・バーバラ、オレンジ・カウンティ、アリゾナに準支部があります。



US15 JETAA Hawaii



JETAA HAWAII
JAPAN EXCHANGE AND TEACHING
ALUMNI ASSOCIATION

①<http://jetaahawaii.org/>、②ホノルル／ホノルル市、ホノルル・カウンティ、マウイ・カウンティ、ハワイ・カウンティ、カウアイ・カウンティ、③526人、④ビーチの清掃など、コミュニティ活動にも積極的に取り組んでいます。

US16 JETAA Alaska

①なし、②アスカレッジ／アラスカ州、③20人



US17 Great Lakes JETAA



①<http://www.greatlakes.jetalumni.org/>、②デトロイト／ミシガン州、オハイオ州、③162人、④ミシガン南部及び西部、

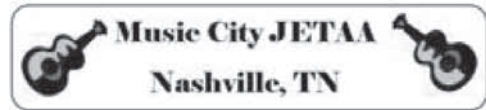
オハイオの3つの準支部があります。

US18 JETAA Minnesota

①<http://www.minnesota.jetalumni.org/>、②ミネアポリス、セントポール／ミネソタ州、③293人



US19 Music City JETAA



①<http://www.jetaamc.org> (準備中)、②ナシュビル／テネシー州、ケンタッキー州、③102人、④カントリー・ミュージックで有名なナシュビルを拠点とし、2008年に設立されたアメリカで一番新しい支部です。

<JETAA Canada>



CN1 JETAA Ottawa

①<http://jetaaottawa.ca/>、②オタワ、③139人

CN2 JETAA Toronto

①<http://www.jetaatoronto.ca/>、②トロント、③1,119人、④カナダ最大の支部です。

CN3 JETAA Quebec / Atlantic

①<http://qa.jetaa.ca/>、②モントリオール／ケベック州以東のカナダ東部、③255人、④フランス語が公用語とされているケベック州を拠点とする土地柄、フランス語・英語が両方できるバイリンガルの人材が豊富です。

CN4 JETAA Manitoba / Saskatchewan

①<http://mansask.jetaa.ca/>、②ウィニペグ／マトバ州、サスカチュワン州、③58人、④中心メンバーはマニトバ州ウィニペグで活動しています。

CN5 JETAA Northern Alberta

①<http://jetaana.ca/>、②エドモントン／アルバータ州北部、③82人

CN6 JETAA British Columbia & Yukon

①<http://www.jetaabc.ca/>、②バンクーバー／ブリティッシュ・コロンビア州、ユーコン準州、③633人、④トロントに次ぐカナダ第二の支部です。陶芸、盆栽、琴、尺八、日本料理等、日本文化に関する講習会を積極的に開催しています。

CN7 Southern Alberta JETAA

①<http://www.sajetaa.org/>、②カルガリー／アルバータ州南部、③81人

海外生活 だより

ニューヨーク事務所

カレッジ・バスケットボール (College Basketball)について

ニューヨーク事務所 所長補佐 石橋 敬三(堺市派遣)

みなさんは、アメリカ合衆国の国民的スポーツと聞いて何を思い浮かべるでしょうか。ここアメリカ合衆国では、アメフト・野球等と並んで最も人気の高いスポーツの一つとしてバスケットボールが挙げられます。日本でもNBAの試合はマスコミでの露出が多いので、テレビを通じてご覧になった方も多いと思います。先日、そのNBAではなく、カレッジ・バスケットボール (College Basketball) の試合を観戦する機会があったので、その体験を報告したいと思います。アメリカ合衆国は地域によって人気のスポーツに違いがあるのですが、このカレッジ・バスケットボール (以下大学バスケ) は、日本の高校野球と同様の盛り上がりを見せているように感じられます。毎年11月から4月上旬までのシーズン中は、ケーブルテレビでも試合が連日放映されているほどです。

カレッジ・バスケットボールの構成

さて、ここで簡単に、大学バスケの構成についてご紹介します。大学バスケの仕組みは、全米大学体育協会 (NCAA: The Nation Collegiate Athlete Association) によって、構築されています。全米に散らばるチームは、まず大学の規模等に応じて、I・II・IIIの3つのディビジョン(区分)に分類されます。私が観戦したのはディビジョンIの試合でした。しかしアメリカ合衆国は広いので、一定の地域単位で体育競技連盟を形成し、その加盟チーム同士でリーグ戦を競い合う仕組みになっています。(そうでないと、毎回のよう飛行機での移動になってしまいます。) 例えば、ディビジョンIには32のリーグ、350ものチームが存在します。そして、各リーグを勝ち抜いたチームに

加え、NCAA推薦枠によって選ばれたチームが、毎年シーズン終盤の3月に行われるトーナメントに参加できるのです。この敗者復活戦無しのトーナメントは毎年人々を熱狂させるため、俗に「マーチ・マッドネス (March Madness)」と呼ばれています。

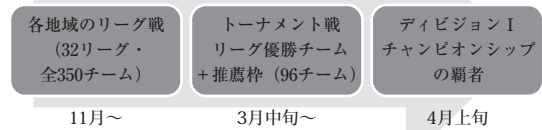


図1 チャンピオンシップ優勝までの道のり (Division Iの例)

アイオナ大学スタジアムの設備

私が観戦したのは、ニューヨーク州、ニュージャージー州等の地域をカバーするメトロ・アトランティック体育連盟のリーグに所属する、アイオナ大学 (Iona College) とシエナ大学 (Sienna College) の試合でした。この試合は、ニューヨーク州郊外のニューロッシェル市(注)にあるアイオナ大学構内のスタジアムで2月11日に行われたものです。

アイオナ大学のスタジアムは、写真のとおり電光掲示板や照明、音響等、どれをとってもプロ並みのものを備えており、大学スポーツといえども、エンターテインメント要素の充実には目を見張るものがありました。しかし、この大学の設備だけが特別というわけではなく、どうやらほとんどの大学のスタジアムに同様の設備が備わっているようです。



写真1 スタジアムの風景

(注) ニューロッシェル市…ニューヨーク州ウェストチェスター郡にある人口7万人ほどの市で、フランスのラ・ロッシェル市からの入植者の開拓によって生まれた街である。マンハッタン・グラントセントラル駅からの移動にかかる時間は約30分（メトロノース鉄道）。

アイオナ大学チーム

アイオナ大学のチームは過去10年間で3回リーグ優勝をしている強豪チームです。今シーズンもこれまで24試合中14勝、今後の成績が上向けば優勝も期待できる位置にいるようです。私が観戦した時点で、今シーズンも残り僅か6試合というすでに佳境に入った状況だったので、選手側も応援する側も、優勝争いに向けてかなり熱が入っていました。過去15試合の対戦成績はアイオナ大学側からみて勝率5割1分1厘、ほぼ互角といったところです。隣に座っていた地元の方も「今日はいい試合になるぞ!」と意気込んでいましたので、バスケットボールにはさほど詳しくない私もわくわくしてまいりました。私は知り合いがニューロッシェル市に住んでいるので、アイオナ大学(ホームチーム)を応援する事にしました。

いざ観戦

さて、実際に試合が始まると、前列に座っていた私はその迫力に圧倒されるばかりでした。一生懸命にプレイする選手の身体と身体とのぶつかり合いもさることながら、応援団や大音量のBGMも良く工夫されており、日本の学生スポーツに比べエンターテインメント要素に長けた、商業的な雰囲気を感じ取ることができました。もちろんこの日もテレビ局が入っていました。また、日本と違い、チアリーダーやダンスクラブ、ブラスバンド等の応援団はホームチーム(アイオナ大学)のものしかなかった事も興味深かったです。試合開始時、ハーフタイム等にはアイオナ大学応援団のパフォーマンスが繰り広げられ、客席を沸かせていました。一方、アウェイのシエナ大学側を応援する人は数えるくらいしかなく、歓声の大きさも比較にならないものでした。試合の流れがアイオナ大学側に傾くと会場全体が

湧き、シエナ大学側に傾くと会場全体が静まるといった具合でしたが、それがどうも慣れず、何度か間違っただけでシエナ大学が得点した時にも歓声をあげてしまいました。試合の序盤はアイオナ大学が主導権を握っているように見えました。終盤には、いくつかのミスにより追い詰められるシーンがありましたが、結果的には69対65という僅差でアイオナ大学が辛勝するという、手に汗を握るような試合となりました。ところで、試合中にビデオ判定という珍しい場面にも遭遇しました。写真は、コート傍のビデオ席に審判団が集まり協議している様子です。選手はもちろんの事、審判たちも妥協を許さず本気です。



写真2 ビデオ判定の様子

まとめ

試合を観ていると、これがプロではなく大学バスケットであるということを忘れてしまいそうになります。「本格的」というと失礼かもしれませんが、スポーツ・エンターテインメントとして商業的にも十分通用するほどのクオリティを持っていると感じました。それは、もちろん各選手の運動能力や才能によるところが大きいのですが、一方で、チーム運営側やNCAA、各地域の体育競技連盟等のプロデュース能力がもたらす効果も大きいと考えます。このような中に、“エンターテインメント性を向上させる事によって、良い選手を育む環境、土壌を作る - そこから生まれた良い選手がさらなるエンターテインメントを生み出す”、という良い循環が存在するように感じました。アイオナ大学バスケットボールチームのさらなる健闘を祈念しながら、本報告の結びとさせていただきます。

【参考URL】

NCAA (全米大学体育協会)
<http://www.ncaa.com/>

MAAC (メトロ・アトランティック体育連盟)
<http://www.maacsports.com/>

アイオナ大学体育会 (男子バスケットの項目は、ページ左側 [Men's Sports >>Basketball] より)
<http://www.icgaels.com/>